



広島交響楽団

第22回 廿日市

定期演奏会

愛のモーツァルトと
北の大地に迸る熱情



指揮 / 下野 竜也
Conductor : Tatsuya Shimono



ピアノ / 小林 愛実
Piano : Aimi Kobayashi

Program

グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲
Glinka : Ruslan and Lyudmila Op.5 Overture

モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番ニ短調
Mozart : Piano Concerto No.20 in D minor K.466

ショスタコーヴィチ：交響曲第5番ニ短調「革命」
Shostakovich : Symphony No.5 in D minor Op.47

2019 **4.21** (日) 15:00開演
(14:30開場)

※**はつかり文化ホール さくらびあ 大ホール**

※4月1日より、施設の愛称の **さくらびあ** を **ウッドワンさくらびあ** に変更いたします。

■入場料 全席指定(税込)

S席3,700円/A席3,200円/B席2,700円/学生1,500円 (B席のみ)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象です。要学生証提示。
※学生席はさくらびあ事務局、広響事務局のみの取り扱いとなります。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

■チケット発売日

さくらびあ倶楽部会員/2月3日(日) 一般/2月10日(日) 広響事務局/2月12日(火)

さくらびあ倶楽部会員/500円引(ポイント対象外。オンラインチケットの取扱いはございません。)
広響会員/1割引(さくらびあ事務局、広響事務局のみ。当日の割引はございません。)
ちゅーピーくらぶ/1割引(中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)、さくらびあ事務局、
広響事務局のみ、当日の割引はありません。)

プレイガイド/エディオン広島本店、フジグランナタリー、さくらびあ事務局、ローソンチケット(Lコード61320)、
チケットぴあ(Pコード138-176)、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)、広響事務局

©Akira Muto

■主催/公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

■特別協賛/ **中国電力** ■協賛/ウッドワン、デリカウイング、フマキラー、山崎本社 ■後援/廿日市市、廿日市市教育委員会

お問い合わせ/さくらびあ事務局 ☎0829-20-0111、広響事務局 ☎082-532-3080

アクセス/広島宮島線「廿日市市役所前」駅から徒歩7分、JR山陽本線「宮内車庫」駅から徒歩約15分 ※駐車場には限りがあります。ご来場は公共交通機関をご利用ください。



広島交響楽団

第22回廿日市定期演奏会

愛のモーツァルトと北の大地に迸る熱情

広響音楽総監督、下野による圧倒的な熱量が込められたショスタコーヴィチが聴ける貴重な機会。
小林愛実の甘美で切ないモーツァルトとのコントラストも魅力的。



指揮／下野 竜也 Conductor : Tatsuya Shimono

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンバレー響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。

2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者に迎えられ、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。2017年4月より同団常任首席客演指揮者に就任。

2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

2017年4月、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授に就任。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



ピアノ／小林 愛実 Piano : Aimi Kobayashi

1995年山口県宇部市出身。3歳からピアノを始め、7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たす。

これまでに、アメリカ、パリ、モスクワ、ポーランド、ブラジル等に招かれ、スピヴェアコフ指揮モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラ、ジャッド指揮ブラジル響など国内外における多数のオーケストラと共演。2010年14歳でEMI ClassicsよりCDデビュー。発売記念のリサイタルは売切れ、追加公演はサントリーホール大ホールで日本人最年少となるリサイタルを開催した。

2011年セカンドアルバム「熱情」をリリース。また、同年ショパン生誕200年記念に際して、ポーランド政府より「ショパン・パスポート」を授与された。

2015年10月「第17回ショパン国際ピアノ・コンクール」に出場、ファイナリスト。2018年ワーナークラシックスとの国際的な契約を発表。4月には7年ぶりとなるCD「ニュー・ステージ〜リスト&ショパンを弾く」をリリースし、各方面で評価されている。8月には、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭に出演し絶賛された。

8歳より二宮裕子氏に師事し、2011年桐朋学園大学付属高校音楽科に全額奨学金特待生として入学。現在、フィラデルフィア・カーティス音楽院で、マンチェ・リュウ教授のもと研鑽を積んでいる。

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国を代表するプロオーケストラ。1998年、秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザー、2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた(2017年終身名誉指揮者に就任)。2017年からは、下野竜也が音楽総監督に、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者に迎え新体制をスタートさせた。また2016年には、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデがミュージック・パートナーに就任した。また、マルタ・アルゲリッチに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に世界平和のための音楽活動を続けることを約束した。これまでに、「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」などを受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

